



横浜市 技連協だより

第 27 号

平成 17 年 1 月 30 日

発行 横浜市技能職団体連絡協議会 発行責任者 会長 川上 三寶
事務局 横浜市技能文化会館内 〒231-8575 横浜市中区万代町 2-4-7
電話 045-681-6553 FAX 045-664-9400



謹賀新年

新年を迎えて



横浜市技能職団体連絡協議会

会長 川上 三寶

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

平成十六年は、国内外共に多難な一年でした。

この一年が、皆さんにとって健康で希望に満ちた年でありますよう心からお祈り申し上げます。

旧年中は技連協の活動に対しまして、ご理解とご協力をいただき心から感謝申し上げます。

我が国の景気は回復の兆しはあるものの依然として低迷した厳しい状態が続いております。特に我々技能職者にとっては、大変厳しい環境におかれております。

このような厳しい時にこそ、私たちは長年の経験で得た技能と知恵を活かし、「ものづくりの大切さ」を継承し、後継者の育成を図って行かなければなりません。

技連協としても、「技能まつり」・「各種交流会」・「研修会」等、業種を超えた連帯・交流・情報交換等を通して会ならではの充実発展を図り、技能職の社会的・経済的地位向上に努めてまいります。

さらに、幅広く市民の皆さんにも心の通った豊かな技能を知っていただき伝承していきたいと考えています。

皆様の一層のご理解とご協力をお願いし、ものを大切にする心を技連協の皆様と一緒に伝えていきたいと考えております。



十七年の年頭に当たって

改革の成果を生み続けて行く年

横浜市長 中田 宏

明けましておめでとございます。

今年も、三百五十六万人の市民の一人おひとりととりまして、健やかで幸せな一年でありますよう、心からお祈り申し上げます。

これまで、「民の力が存分に発揮される都市・横浜の実現」を基本理念として、さまざまな改革に取り組んできました。三年間の取組を経て、変化の兆しは見え始めましたが、まだまだ課題が多く、改革の成果を生み続けて行く必要を一層感じています。

一方、今年はいくつかの改革の成果が新たなスタートとして結実します。

横浜市立大学は、「市民が誇りうる、市民に貢献できる大学をめざす」とし、今年四月から公立大学法人横浜市立大学としてスタートします。

また、再整備後の港湾病院は、運営を日本赤十字社に委ね、「横浜市立みなと赤十字病院」として、同じく四月にスタートし、二十四時間三百六十五日の救急医療、小児救急医療などを実施します。

区役所では、道路・公園などの身近な要望に、よりスピーディに対応できるようにするとともに、待ち時間の短縮や申請書の見直しなど窓口に

サービスの充実に取り組みます。

横浜市は、平成十六年を「協働元年」と位置づけ、新たな協働のあり方を指向してまいりました。「ヨコハマはG30」の取組は、「平成二十二年におけるごみの排出量を十三年度に対して30%削減する」ことをめざす最大の協働行動です。今年四月からは、十分別十五品目の分別収集を全市で展開します。

今年、さらに緊急の課題となっている地域の防犯力の強化につきましても、市民の皆様との一層の協働により、取組を強めてまいります。

横浜は、二〇〇九（平成二十一）年開港百五十周年・市制百二十周年を迎えます。

四年後に迫ったこの歴史的な年を、夢や希望にあふれた横浜の再発展の契機とすべく、準備を始めていきたいと考えております。

かつてのように社会・経済の高度な「成長・拡大」が望めない時代となり、少子高齢化の急速な進展とともに、人口減少も現実味を帯びていく中で、横浜の将来を見据え、市民の皆さんとともに、考え、行動していきたいと思っております。

今年も、都市・横浜の価値を高め、市民のため、市の役割をめぐすことをお誓い申し上げます。新年のあいさつといたします。

平成十七年技連協賀詞交換会

(事務局連絡分のみ)

● 一月十二日(水)

(社)神奈川県電業協会

(横浜ベイシエラトンホテル)

横浜市管工事協同組合

(ロイヤルホールヨコハマ)

横浜市屋外広告美術協同組合

(梅の花)

● 一月十四日(金)

(社)神奈川県塗装協会

(社)横浜塗装工業会

(ロイヤルホールヨコハマ)

● 一月十八日(火)

横浜美容組合連絡協議会

(ホテルコスモ横浜)

● 一月二十一日(金)

横浜市建設労働組合連合会

(横浜国際ホテル)

藤沢市技能職団体連絡協議会

(藤沢市民会館)

● 一月二十二日(土)

神奈川県木型工業協同組合

(ホテルパークレオン横浜鶴見)

● 一月二十三日(日)

横浜市鍼灸マッサージ師会

(ホテル横浜ガーデン)

● 一月二十五日(火)

横浜市理容連合会

(メルパルク横浜)

川崎市技能職団体連絡協議会

(てくのかわさき)

● 二月二十七日(日)

横浜市社交飲食喫茶技能連合会

(ワークピア横浜)

平成十六年度 技能功労者・優秀技能者表彰式

平成十六年十一月三十日(火)、横浜市技能功
労者と横浜市優秀技能者の表彰式が横浜市技能
文化会館多目的ホールで開催されました。

当日は、技能功労者九十四人、優秀技能者九
十三人が表彰されました。

この表彰は、永く同一の職業に従事する功
顕著な技能職者の社会的・経済的評価及び技能
水準の向上を図ることを目的に、横浜市が実施
しているものです。

技能功労者表彰は今回で三十八回を迎え、こ
れまでに三千八百六十四人の方が、また、今回

で三十六回を迎える優秀技能者表彰では、これ
までに四千八百二十八人の方が受賞されていま
す。

当日は、市長の代理として本多常高横浜市副
市長から表彰状の授与と市長からのメッセージ
の披露がありました。続いておこなわれた記念
講演会では、株式会社^{かざりいち}第一、代表取締役社長岩
宮陽子様の「経営は裸足の風あげ」と題してお
話いただき、受賞式参加者の皆さんが熱心に聞
き入っていました。



技能功労者受賞式



優秀技能者受賞式



記念講演会



式典にのぞむ

横浜市技能功労者の皆様

☆受賞職種 40職種

☆受賞者 94名

石工	石工	印章彫刻士	花卉装飾	花卉装飾	型枠大工	看板製作士	看板製作士	クリーニング師	建築士	建築士	建築士	建築大工	建築大工	建築大工	電気工事士	建具職	建築大工	建築大工	塗装技能士	建築大工
寺田寛	三橋勝	後藤孝年	巻島功一	大川勝良	高橋勝吉	諏訪恵一	大川一平	村田敏憲	佐々木遵	田中恒夫	伊藤弘	土屋昭寛	齋藤進	河辺好弘	飯野克彦	中村博隆	後藤清賢	鷺見孝正	藤田好穂	宮澤八四郎
建築大工	建築大工	左官技能士	左官技能士	左官技能士	左官技能士	写真師	寝具製造業	寝具製造業	製菓技術師	製菓技術師	繊維加工	繊維加工	染色洗張	染色洗張	染物洗張	造園技能士	造園技能士	造園技能士	タイル技能士	暹工技能士
小川進	小沼亘	稲葉信勝	大黒功	松井啓作	石井啓造	野沢慶三	奥田勉	内藤邦夫	金子敏和	藤本勝也	安東正夫	山田英男	渡邊寛	西澤正太郎	渡邊忠勇	江原純夫	栗原充	三浦三喜男	萩原武	暹工技能士
暹工技能士	建設技師	調理師	調理師	調理師	調理師	調理師	調理師	時計修理技術者	時計修理技術者	時計修理技術者	時計修理技術者	時計修理技術者	時計修理技術者	時計修理技術者	時計修理技術者	時計修理技術者	時計修理技術者	時計修理技術者	時計修理技術者	時計修理技術者
村杉義三	田中英男	荒巻子三	栗原元徳	関根賛吾	林香織	井上保富	井上英三郎	神原直	井上直	金井隆夫	福田正晴	島崎昇	安田喜男	結城鉄三	石渡研三	横溝和男	横溝和男	横溝和男	横溝和男	横溝和男
表具師	表具師	表具師	表具師	表具師	表具師	表具師	表具師	表具師	表具師	表具師	表具師	表具師	表具師	表具師	表具師	表具師	表具師	表具師	表具師	表具師
畑山功	岩井忠夫	池田トヨ子	光岡イク子	白石友子	松川キヲ子	立石多栄子	高垣篤子	丸小野和子	相川久子	深川政夫	藤田俊藏	布川俊藏	松野正巳	相澤伸	平沢伸浩	青木禧和	立石俊彦	星井克之	井上智	武田文壽

(敬称略・順不同)

● 技連協関係者の受賞 ●

● 厚生労働大臣表彰「現代の名工」

鎌倉重治様（社）神奈川県タイル煉瓦協会横浜連合会）と、揚井國雄様（神奈川県中目調理師会）が卓越した技能を持ち、その道で第一人者と目されている技能者として、平成十六年の「卓越技能者（現代の名工）」を受賞されました。

● 厚生労働大臣表彰「生活衛生功労者」

鈴木邦彦様（横浜市美容組合連絡協議会会長）永年に亘り、生活衛生の普及向上等に尽力された功績により表彰されました。

● 神奈川県知事表彰「神奈川県卓越技能者」

不破野武様（横浜塗装インテリア協会会長）優れた技能を有する県内の第一人者として表彰されました。

受賞者の皆さん、誠におめでとございます。後継者育成への励みとなります。

☆ 最近の主な団体活動状況（事務局確認分のみ）

・ 平成十六年十二月二十一日（火）

（社）横浜塗装工業会

設立三十周年記念式典

（ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル）

・ 平成十七年一月二十三日（日）

首都圏建設産業ユニオン横浜支部

第十一回定期大会

（横浜市スポーツ医学センター）

・ 平成十七年二月十四日（月）

（社）神奈川県造園業協会

協会創立「三十周年記念式典」

（横浜港大栈橋ホール・ロイヤルウイング）

設立三十周年を迎えて

（社）横浜塗装工業会

会長 佐護 徹

平成十六年十二月二十一日（火）、設立三十周年記念式典並びにパーティを開催し、内外の多くの皆様方の祝意を頂くことが出来ました。このことは、関係官庁並びに指導機関、そして当日ご臨席を頂いたご来賓各位のご指導ご鞭撻の賜であり、併せて会員皆様方のご協力に、心から感謝を申し上げます。

当工業会は、昭和四十五年に設立された横浜塗装協力会に端を発し、時代の要請と業界将来への大計を的確に把握された先輩方によって昭和四十九年十月二十一日をもって社団法人化され、今日の隆盛を見ることになったのであります。この間、必ずしも順調な歩みばかりではなかったはずですが、時代の盛衰に巧みに歩調を合わせながら、生まず弛まずの地道な努力の積み重ねが、今日をもたらしただけのものと考えます。

先輩方から引き継いだこの組織と実績をさらに充実させ、後輩に引き継いでいく事が今、私たちに与えられた大きな役目であると自覚しております。皆様方のより一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。



あいさつされる佐護会長

第7回横浜マイスターまつり開催

平成十六年十一月二十一日（日）横浜市技能文化会館及び大通り公園で、第七回横浜マイスターまつりが開催され、約二千五百人の市民が来場されました。

当日は、二十七人の横浜マイスターが卓越した技能を披露しました。また、小中学生をはじめとした体験教室では熱心に指導する姿も見られ、来場者に手仕事・手作業の素晴らしさを伝えました。終日、多くの来場者で賑わいました。



銅版画教室

道志村間伐材を使った丸太切り体験



よこはま技能まつりチャリティー益金を 「新潟中越地震」被災者救援へ

平成十六年十月三日(日)横浜公園において「第二十五回よこはま技能まつり」が開催されました。

当日はあいにくの雨で、例年の来場者を大幅に下回り出店の売り上げも減少したにもかかわらず、参加団体から数多くチャリティー益金にご協力をいただきました。

例年は市内の福祉活動に寄贈させていただいておりましたが、新潟中越地震の直後ということもあり、「今、一番困っている人たちに助けたい」と寄贈先を急遽変更、「新潟県中越地震」で被災した方々への義援金としてお渡しすることになりました。

十月十八日(月)、川上会長から神奈川新聞厚生文化事業団を通じて新潟県中越地震の被災者へ十二万四千七十円を寄贈しました。ご協力していただきました団体の皆さんありがとうございました。



「新潟中越地震」の被災者へ義援金を寄贈する川上三實会長

職人の団体が被災者へ寄付 新潟中越地震 横浜市内の職人が所属

する同市技能職団体連絡協議会(加盟四十三団体、構成人員約六万人)が二十七日、神奈川新聞厚生文化事業団を通じて新潟県中越地震の被災者へ十二万四千七十円を送った。

同協議会は毎年十月に横浜公園(中区)で「よこはま技能まつり」を開催。今年は三日に開かれ、あいにくの雨の中、六千人が来場した。

今回の寄付は当日の収益。例年は市内の社会福祉活動支援に充てていたが、「いま一番困っている人たちを助けたい」と寄付先を変更した。協議会会長でまつりの実行委員会も任切った川上三實さんが「一刻も早く届けてください」と事業団事務局に届けた。(有吉 敏)

▼お知らせ▲

堀 正道氏 技連協会計理事
(神奈川県全調理師協会副理事長)
平成十六年十二月十日(金)、永眠されました。七十歳でした。ご冥福をお祈りいたします。

H16. 10. 28 (木) 神奈川新聞

青年部の活動

●青年部四市交流会に出席

十一月七日(日)、てくのかわさき(川崎市高津区)にて四市技連協青年部交流会が開催されました。

今年の当番は川崎市で、川崎マイスターの指導による「藍染め体験」を楽しみました。参加者は簡単な絞り染めなどを使って各々好きなデザインを染め上げました。川崎市技連協青年部の皆様ありがとうございました。

●青年部講演会を開催

十一月十九日(金)、技能文化会館で青年部講演会を開催しました。講師に日本ガーディアン・エンジェルズ横浜支部長の坂井清美氏を迎え、「自主防衛・自主防犯(地域防犯を含む)について」と題し、夜の繁華街を巡回して青少年の非行・犯罪の防止や環境美化運動をする一方、地域と連携した防犯活動などにも積極的に関わるなど精力的な活動をされているガーディアンたちの活動状況についてお話いただきました。

青年部ダンスパーティーNICKI期待!!

三月十三日(日)にセルテ11階の「リトルターリン」で恒例の青年部ダンスパーティーを開催します。今年も目一杯、飲んで踊って楽しんでください!!
多数のご来場をお待ちしています。

●宮ヶ谷チャレンジまつりに参加

十二月四日(土)、西区宮ヶ谷小学校で開催された「宮ヶ谷チャレンジまつり」で技連協青年部は「バルサ飛行機づくり教室」を担当しました。当日は一年生から六年生まで四十人が参加し、慣れない手つきながら立派な飛行機を作りました。作り終えた後は校庭に出て、みんな大喜びで自作の飛行機を飛ばしました。

最後になりましたが、神奈川県木型工業協同組合青年部の皆様には事前のご指導、そして当日も講師としてご協力いただき大変ありがとうございました。



バルサ飛行機作り

●今後の行事

技連協ボウリング大会

日時 平成十七年三月八日(火)

午後六時十五分スタート

会場 新杉田ボウル

*参加申込みは二月二十一日(月)までに事務局へお願いします。

「生活関連」の次は「食」そして「衣」コーナーです。職种的には豆腐、煎餅、和菓子、洋服、理美容、靴、和裁、染物、クリーニングが登場します。匠プラザの中では資料的に一番少ない部分ですが必見の価値ある資料が揃っています。特に靴職人の道具は逸品です。

日本における本格的な靴製造は、明治三年、東京築地にできた西村勝三の靴工場が嚆矢とされます。この年は軍服が定められた年でもあり、靴製造は軍需によって発達しました。

明治十二年発行の「諸工職業競」という錦絵にも軍靴と思われるブーツを作る職工たちの姿が生き生きと描かれています。それらと同じ道具が匠プラザの中にもあります。西洋から伝えられた職業なので当然ですが、百二十年前と同じ道具を使っていたかと思うとちよつと感動してしまいます。近年では

機械生産の靴の普及により、靴作りをする職人の姿も見かけなくなりましたが、平たい革を幾つも組み合わせる立体的な靴に仕上げる技術は芸術的ですからあり、連綿として受け継がれてきた技術に思いを馳せる瞬間でもあります。

その他にも、クリーニング業で使用されていたフリキリと呼ばれる手動の脱水機や炭アイロン、理美容の西洋式剃刀などの資料が展示され、匠プラザの中でも異国情緒漂うコーナーとなっております。

匠プラザ紹介 ～最終回～
「職人・技能と暮らし」③

四回にわたり紹介してきた匠プラザは、職人の技術・道具の発展の足跡を後世に伝えることを目的として展示をしています。技連協の皆さんも若い組合員に対する技術・職業の歩み、そして、先人たちの知恵と工夫を伝える場として大いに活用いただきたいと思ひます。

*職人から学ぶ講座を開講

▽一月二十日(木)

「プロから学ぶバレンタインチョコプレート作り」

講師団体・横浜市社交飲食喫茶技能連合会

▽二月二十一日～三月十八日(全八回)

「婦人服裁縫師から学ぶオーバードレスの縫い方」

講師団体・神奈川県洋装組合連合会

▽二月二十日(日)

「お豆腐屋さんから学ぶ豆腐作り」

講師団体・横浜豆腐商工業協同組合

▽二月二十四日(木)

「和菓子屋さんから学ぶ和菓子作り」

講師団体・横浜市菓子協議会

▽二月二十七日(日)

「花屋さんから学ぶお祝いのフラワーアレンジメント作り」

講師団体・神花協横浜地区生花商協議会

▽三月二十七日(日)

「印章彫刻士から学ぶ篆刻入門」

講師団体・神奈川県印章業組合連合会

事務局から

去る一月十七日(月)の「防災とボランティアの日」にあわせて技能職災害復旧体制本部(技連協事務局)より各技能職災害復旧体制総括責任者あてに、「情報受伝達訓練」を実施いたしました。

多くの復旧協力が可能な団体(支部)等の回答がありましたことからお礼申し上げます。ご協力ありがとうございました。